

## HIV とアルコールの関係性- 物質乱用、パート 2

アルコールの摂取や乱用は HIV/エイズの感染を拡大させます。また、HIV 感染者の治療にも影響を与えます。アルコールの摂取、特に**暴飲**は HIV 感染リスクを高めます。



酔っ払うことは、安全な選択をする能力に悪影響を及ぼし、リスクの高い行動をとる可能性を高めます。シラフの時にはしないような、コンドームを使用しない性行為などをするようになります。

このようなリスクの高い行為には、HIV の感染リスクだけでなく、その他の STD (性感染症) に感染するリスクも高めます。

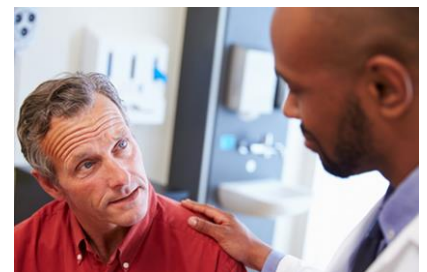


大量飲酒により判断能力が低下します。これにより、HIV 検査を受けるタイミングが遅れてしまう可能性があります。HIV 検査が陽性でも、アルコールを乱用している人は明瞭な判断ができずに治療の開始時期が遅くなってしまう場合があります。

HIV/エイズの治療では、複雑な薬の服用予定を守ることがしばしば必要となりますが、アルコールの乱用により、これが困難になる場合があります。

アルコールの乱用は肝障害やその他の病気の原因となり、HIV 感染状態を悪化させる恐れがあります。

HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。



Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN2762015000111 awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.